

Code Orange

—Save Life—

	代表者	植村愛子 (医学B 4年)
構成員	木村剛 (医学B 6年) 佐伯晋吾 (医学B 6年) 坪根咲里依 (医学B 6年)	
	戸川文子 (医学B 6年) 仲野優 (医学B 6年)	
	宮崎由依 (医学B 6年) 鈴木潤一 (医学B 6年)	
	遠山直弥 (医学B 6年) 木本義敬 (医学B 6年)	
	小林諭史 (医学B 6年) 飛田野篤 (医学B 5年)	
	久保直登 (医学B 5年) 川口晃 (医学B 5年)	
	山中雄城 (医学B 5年) 酒匂優嘉 (医学B 5年)	
	土肥聖未 (医学B 5年) 金谷妃呂子 (医学B 5年)	
	星澤早紀 (医学B 5年) 岡本菜奈 (医学B 4年)	
	加藤幸多 (医学B 4年) 荻田雅子 (医学B 4年)	
	倉田こなつ (医学B 4年) 高越寛之 (医学B 4年)	
	馬場悠花里 (医学B 4年) 井上郁香 (医学B 4年)	
	上田大貴 (医学B 4年) 片山尚子 (医学B 4年)	
	吉川友沙 (医学B 4年) 石田真子 (医学B 3年)	
	玉那覇育子 (医学B 3年) 津田貴子 (医学B 3年)	
	藤原麗 (医学B 3年) 荒谷友香 (医学B 3年)	
	猪狩真由 (医学B 3年) 魚谷若葉 (医学B 3年)	
	衛藤麻里子 (医学B 3年) 岡田伊代 (医学B 3年)	
	倉重理歩 (医学B 3年) 竹内優佳 (医学B 3年)	
	津田詩織 (医学B 3年) 中尾弥里 (医学B 3年)	
	西原晴菜 (医学B 3年) 木原帆香 (医学B 2年)	
	田中華鈴 (医学B 2年) 中島健司 (医学B 2年)	
	縄田裕之 (医学B 2年) 濱華月 (医学B 2年)	
	内田夢乃 (医学B 2年) 柳瀬めぐみ (医学B 2年)	
	貞光里穂 (医学B 2年) 里田董 (医学B 2年)	
	栗田恵美 (医学B 2年) 渡辺恵理 (医学B 2年)	

1. 2017 年度上半期を振り返って

2017 年度上半期は以前より行ってきた活動に加え、新たに加入したメンバーと共に、日々切磋琢磨しながら BLS の普及活動に励むことができた。

2. 2016 年度上半期の主な活動内容

- 1) 新規メンバーの勧誘, 茶話会
- 2) 安全対策講習会・部活動講習会
- 3) 七夕祭での BLS 講習会
- 4) 第3回全国医学生 CPR 選手権大会中四国大会
- 5) その他定期活動 (週に1度の定例会など)

3. Code Orange 内での活動

週に一度、昼休みの約 20 分間を使って、メンバー内での学習会を行っている。主に 4 年生が講師となり毎週のテーマに沿った内容をパワーポイントにまとめ、その他のメンバーに講義をしている。上半期の内容は、新メンバーが加わったということで、自己紹介や成人 BLS、小児・乳児 BLS を中心に、基本となる内容の講義・実技を行った。それに加えて、今年は回復体位や応急手当などの講義も行った。そのほか、各イベントの報告・反省を行い、より良い講習会を作り上げるためにはどうすればいいのか、受講者アンケートの結果をもとに話し合った。

4. 医学部内での活動

1) 部活動講習会

昨年度同様、本年度も医学部学務課からの依頼に基づき、学生自治会と共同で、部活動に所属する医学部学生（主に 2 年生）を対象に BLS 講習会を行った。ただ今年度は山口大学医学部が、西日本医科学生総合体育大会（以後、西医体とする）の主幹という事もあり、西医体の安全対策講習会も兼ねた部活動講習会となった。そのため例年の約 2 倍の人数の受講者 103 名に対し、17 名の構成員が講習を行った。4 月に新しく加入したメンバーもインストラクターとして参加し、練習会で身に付けた知識や経験を存分に発揮した。受講者のほとんどが BLS を行うのが初めてであり、この講習会を通して医学教育に貢献することができた。



部活動講習会参加メンバー集合写真

2) 頌徳碑清掃

Code Orange では、サークル設立当初から月に 1 回頌徳碑の清掃活動を行っている。頌徳碑とは医学生解剖学実習で御献体して下さった方々の御遺骨が収められている場である。医学生として、その方々への感謝の意を忘れてはならない、という思いからこのような活動を行っている。本年度も引き続き毎月 1 度、清掃活動を行っていく。



頌徳碑前での様子

5. 医学部外での活動, 及び市民に向けた活動

1) 七夕祭

吉田キャンパスで行われた七夕祭に今年も出展し、BLS についての講習を行った。昨年に引き続き、今年も一般市民を対象とした BLS 講習会と、BLS の基礎知識に関するクイズコーナーを設置した。当日は、大学生を中心に、高校生から 50 代の方まで多くの人に参加してもらい、総受講者数は昨年よりも増え、CodeOrange の活動を知ってもらう良い機会となった。新メンバーを中心としたメンバーで講習会を運営して行ったことにより、経験を積むこともでき、Code Orange にとって得られるものの多かった七夕祭となった。今後も多くの人に BLS を身に付けてもらえるよう活動を広げていきたい。



七夕祭での講習会の様子

2) 第3回全国医学生 CPR 選手権大会中四国大会

昨年に引き続いて参加したもので、日本臨床救急医学会とレールダルメディカルジャパン共催で開催される、質の高い CPR を啓蒙するためのイベントである。中国四国地区にある大学の医学部の学生が 5 人 1 チームでチームを組み、3 パターンの CPR を行い、それぞれの CPR の質を競い合った。普段 Code Orange は山口大学の学生や講習会を受けに来た人たちに教えることが多い中で、このように他大学の同じようなサークルの人達と競い合うことは滅多にない機会であり、とても刺激を受けた。また、評価はコンピュータに基づいて行われるため、自分たちの結果が客観的に数値化して評価される。その結果を受け、自分たちに足りないものや他のチームの良いところなどが明確に把握でき、今後の課題が分かった。結果は惜しくも全国大会に出場することは出来なかったが、来年またさらにレベルアップして挑戦したい。



CPR 選手権大会にて手技を行う参加メンバー

6. 2017 年度下半期に向けて

今年は毎年行っている一般市民への BLS 普及活動に加えて、一步進んだ ALS や応急手当も行っていきたいと思っている。ただ、あくまでも我々コードオレンジの目標・テーマは BLS（一次救命処置）をたくさんの人に知ってもらい、そして出来るように身に付けてもらう事である。下半期では Code Orange にとって一番のイベントである「医学祭」での市民の為の心肺蘇生講座や宇部駅伝の救護隊として、学生に、また地域の人々に BLS をすることの大切さを広めていきたい。そして医学生として、山口県民として一人でも多くの命を救える活動をしていきたいと思う。